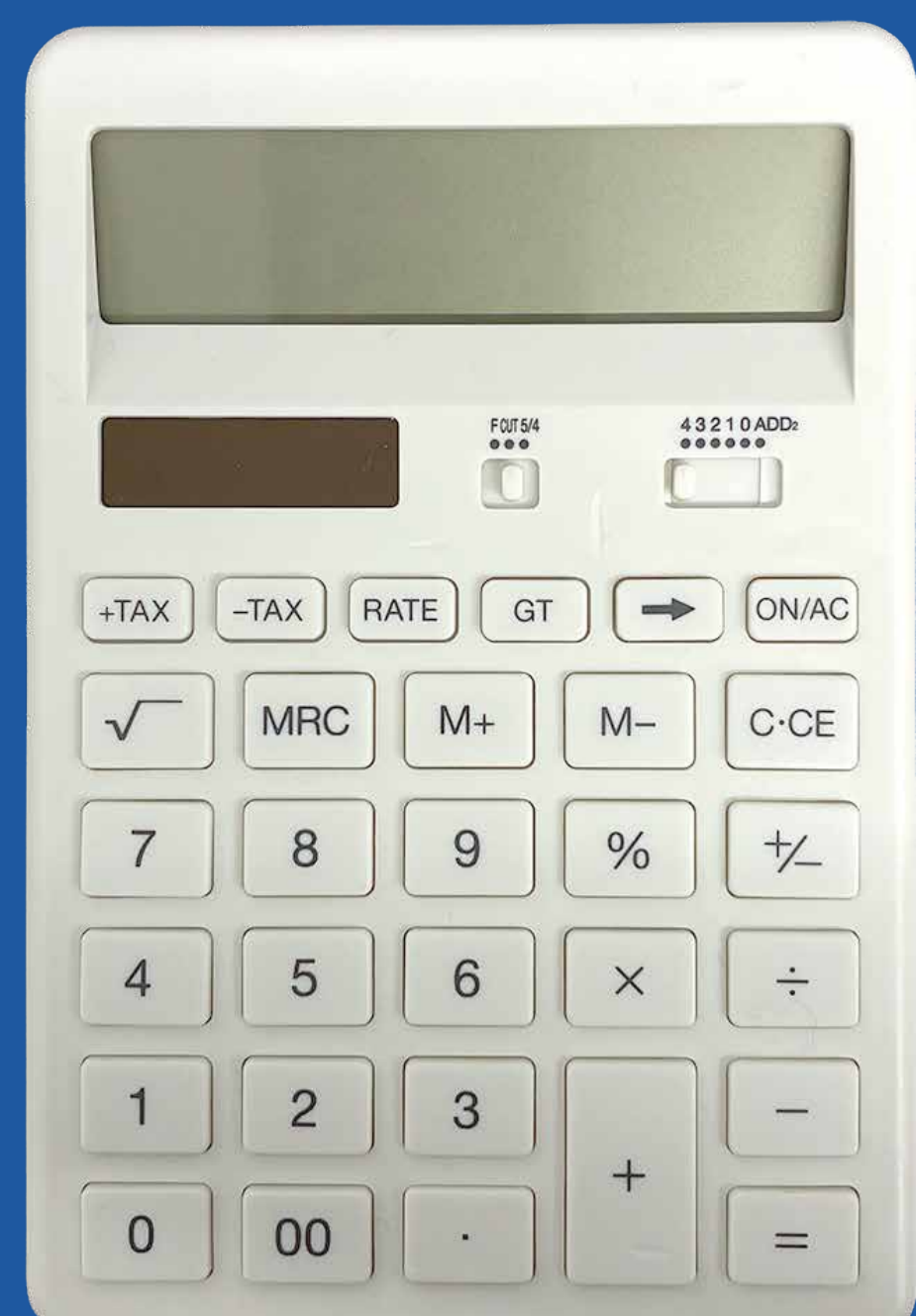


No.86006

電卓 SB-501



ソーラー・電池併用

12桁表示

オートOFF

【電卓のキーの使い方】

ON/AC

電卓の電源を入れ、入力中のデータをすべて消去する。

電源が切れている状態で押すと起動する。計算中に誤入力が重なったときは ON/AC を押してリセットする。

例：複数の計算をやり直すとき、ON/AC を押してゼロから入力し直す。

C・CE

直前に入力した数字だけを取り消す（CE 機能）。または現在の入力値を消去する（C 機能）。一度押すと直前の入力値のみ消去し、演算子（+ や × など）は保持する。ON/AC と異なり、計算の途中で数字を打ち直せる。

例：「123 × 456」と入力する途中で「456」を「789」に変更したいとき、C・CE を押して「789」と入力し直す。

→

入力した数字を1桁ずつ右から削除する。

例：「12345」と入力して「1234」に修正したいとき、→ を1回押すと末尾の「5」が消え「1234」になる。

GT

= を押すたびに得られた答えを自動的に累積し、その合計を表示する。

例：複数の伝票の小計をそれぞれ計算して = を押していくと、GT キーを押すだけで全伝票の総合計が表示される。

RATE

消費税率を設定・確認する。

例：税率を10%に設定するには「10」を入力して RATE を押す。以降 +TAX / -TAX キーがこの税率で動作する。

+TAX

設定された税率を加えた金額を表示する。

例：税抜価格「2,000」を入力して +TAX を押すと、消費税込みの金額が表示される。

-TAX

表示されている税込価格から税抜価格を逆算して表示する。

例：税込価格「2,200」を入力して -TAX を押すと、税抜価格が表示される。

M+

現在表示されている数値をメモリーに加算する。

例：複数の商品の金額を順に計算し、各金額を M+ で積み上げていくと合計をメモリーで管理できる。

M-

現在表示されている数値をメモリーから減算する。

例：割引額を計算した後 M- を押すと、メモリーに保存した合計から差し引いた値を保持できる。

MRC

1回押すとメモリーに記憶した数値を呼び出す。続けてもう1回押すとメモリーをゼロに消去する。

例：合計額をメモリーに保存しておき、別の計算を終えた後に MRC を押して合計額を呼び出す。

√

表示されている数値の平方根を計算する。

例：「144」と入力して √ を押すと「12」が表示される。

+/-

表示されている数値の正負を切り替える。

例：「500」と表示されているときに +/- を押すと「-500」になる。仕入れ値の差額をマイナス表示したいときに使う。

FCUTスイッチ (F / CUT / 5/4)

小数点以下の端数処理方法を切り替える。

- ・ F：小数点以下を全桁表示する。
- ・ CUT：小数点以下を切り捨てる。
- ・ 5/4：小数点以下を四捨五入する。

例：単価計算で小数が出るとき、5/4 に設定すると結果が自動的に四捨五入される。

桁数スイッチ (4 / 3 / 2 / 1 / 0 / ADD2)

数点以下の表示桁数を設定する。

- ・ 0~4：小数点以下の表示桁数を指定する。
- ・ ADD2：小数点を入力しなくても自動で下2桁を小数点以下として扱う（円・銭計算などに使用）。

例：金額計算で整数のみ表示したい場合は「0」に設定する。ADD2 に設定し「1234」と入力し「=」を押すと「12.34」として処理される。

株式会社 **グリーンオーナメント**
 GREEN ORNAMENT Co.,LTD. 1-Chizuka Yoo City
 Osaka 581-0862 Japan

☎ **0120-867-876** 9:00~17:00
 (祝日・土・日は除く)